



生成AI

最新AIチャットボット作成ツールの基本

はじめてのCopilot Studio：特徴と機能を徹底解説

はじめに

近年、Microsoft社からは生成AI機能が付いた様々なサービスが登場しています。

Copilot Studioもその一つで、2023年にリリースされましたが、どんな機能があるのか、何ができるのか、まだよく知らない人も多いのではないのでしょうか。

本資料では、Copilot Studioの基本的な知識、できることやライセンスの種類を解説しています。

AIチャットボットに興味のある方、Microsoft 365 Copilotをご利用中の方、業務効率化を図りたい方は、ぜひご一読ください。

CONTENTS

Copilot Studioとは	2
Copilot Studioの特徴	3
Microsoft 365 Copilotとの違い	4
Power Virtual Agentsとの違い	5
Copilot Studioでできること	6
Copilot Studioの用語	7
エージェントを作成	8
トピックを作成	9
ナレッジの追加	10
マルチチャンネルで公開	11
その他の機能	12
導入メリット	13
Copilot Studioで何が変わる？①②	14
Copilot Studio導入のメリット	16
ライセンスの仕組み	17
テクバンの役割	20

Copilot Studioの特徴

ライセンスによって異なる機能

Copilot Studioとは、自社専用のAIアシスタントを作成できる開発者向けローコードツールです。

主に以下のような機能があります。

- ① **AIチャットボット作成機能**
独自の生成AI機能付きチャットボットを構築が可能
- ② **Microsoft 365 Copilotのカスタマイズ機能**
Microsoft 365 Copilotを拡張させたり、他システムと連携させたりが可能

1,500以上標準搭載されたプラグインやコネクタで、自分だけのCopilotをゼロから作ることができます。

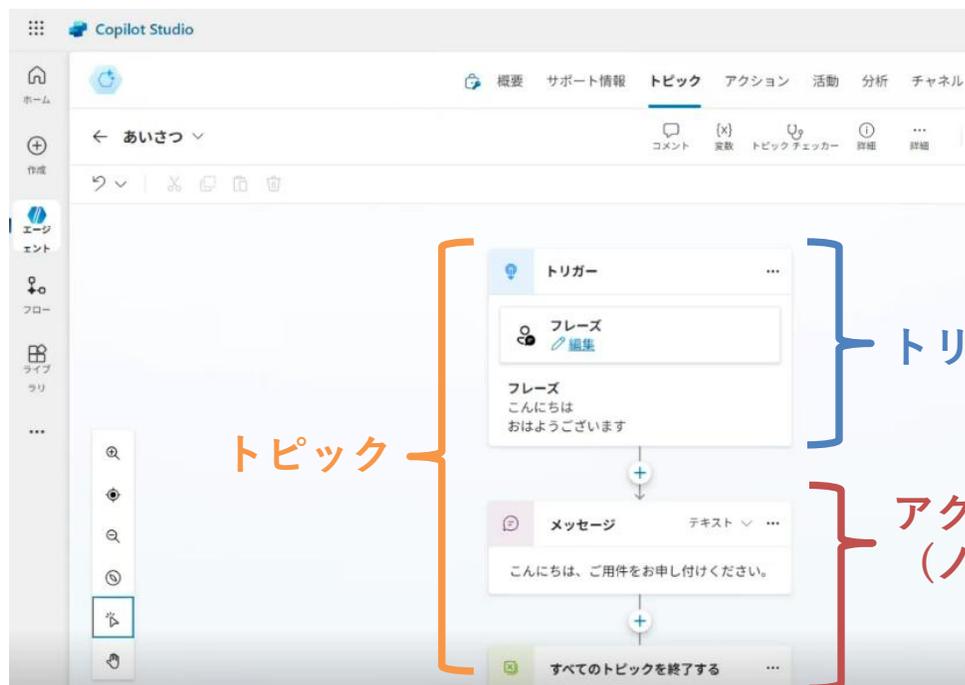
ライセンスについては、P16をご覧ください。



トピックを作成

トリガーとアクションで構成される会話の流れ

トピックは、**1つのトリガーと複数のアクション(ノード)**で構成されます。アクションでは、あらかじめ選択肢を用意することで、ユーザーの回答を絞り込み、且つ回答によってその後のアクションを変えられる条件分岐の設計が可能です。



トピックが実行されるスイッチ(フレーズ)

例①ユーザーが「こんにちは」「おはようございます」と入力したら
例②ユーザーが「申請の仕方」「申請方法」と入力したら

トピックで実行する処理

例①「こんにちは。ご用件をお申し付けください」と返す
例②「何の申請方法が知りたいですか？」
①交通費申請 ②出張費申請 ③休暇申請」と返す